

CUSTOMER

成人向

カスタム

4

ちょびっつ SP





まだプロテクトが
解けないなんて…

もう二十分
経ったのに

うちのパソコン
二十四台をフルに使っても



俺が君のために
特別に組んだ
プログラムだ

いくら拒んでも
それが君の中に
侵入っていく

君は受け入れる
しかないんだ



けど
もう少しだよ



それにしても
君を造った人は
いやらしい人種だよ

マニア心を
がちりわしづかみな
デザインだもんな

くす



君のスペックを
調べる事は
重要だけど

そんなの
後回しにしたく
なってきたよ

くす



くす



ん...

う...

くす



だめ

そこはダメ



「アタシだけのヒト」
じゃないと…

そこはダメ…



何それ？
キミだけのヒト？
それって君の
持ち主のコト？

Hするのに
パスワードでも
必要なのかい？



それは
どんな言葉？

好き？
愛してる？
一生大事にする？

君とやれるなら
どんな言葉でも
入力してあげるよ



やつ

シル







ここ…何で濡れる？

気持ちいいから濡れるんだよ

んっ
んふっ

〈ちゃちゃ〉



ははは 女の子はそこをイジると濡れるものなんだよ

本当にしたことないのか？

コッ



無垢で純粋な小さい女の子にイタズラするみたいで……

ゾクゾクするね



君もそんなにイヤじゃないだろ？

パソコンだってしくみは一緒だからねほらどんどん溢れてくるよ

ん
う…ん

〈カッパカッパ〉











「Chobits」？

君は…
本当に…

な…
な…

フ



うわああああ！



くっぴんくっ...

これで秀樹の
笑顔いつぱい
見れる...

ちい...
いつぱい憶えた



気絶
したの？



どんな味かな...

秀樹のセーエキは

清水多香子

「初めては
好きな人とが
いいからね」
「だから本須和君は
清いままよ」



柚姫



「私は稔様に
作っていただいた
パソコンです」

「性能をお知り
になりたいんでしょ？」

「パソコンって
みんなすごくかわいいから
ちよっとくやしいです」

「…先輩も

そのパソコンのこと

一番好きになっちゃうのかな」



「ねえ…早く動かしてよ」



ちい 観察する



はっ

あっ

OKAWARI



だって
こんなにいつ

だって

もう
やめなきや

だっだめだよ



セン

はあー

それに...

ああっ

はあー

うっ

センパイの
他の人のより
すごく大きいのに

パソコンに
取られるなんて
もったいない!

ニギッ

メニギッ



はひっ

店長より
いい!

ああ

あっ

ニギッ

ゴゴッ



ああっ

なんだか
雲の上に
居るみたいだ

ふっ

くっ!

トニギッ



もっもっ
白く

白く
なっ下さ



あっ！



あっ

もっと強く！



あっ

はっ



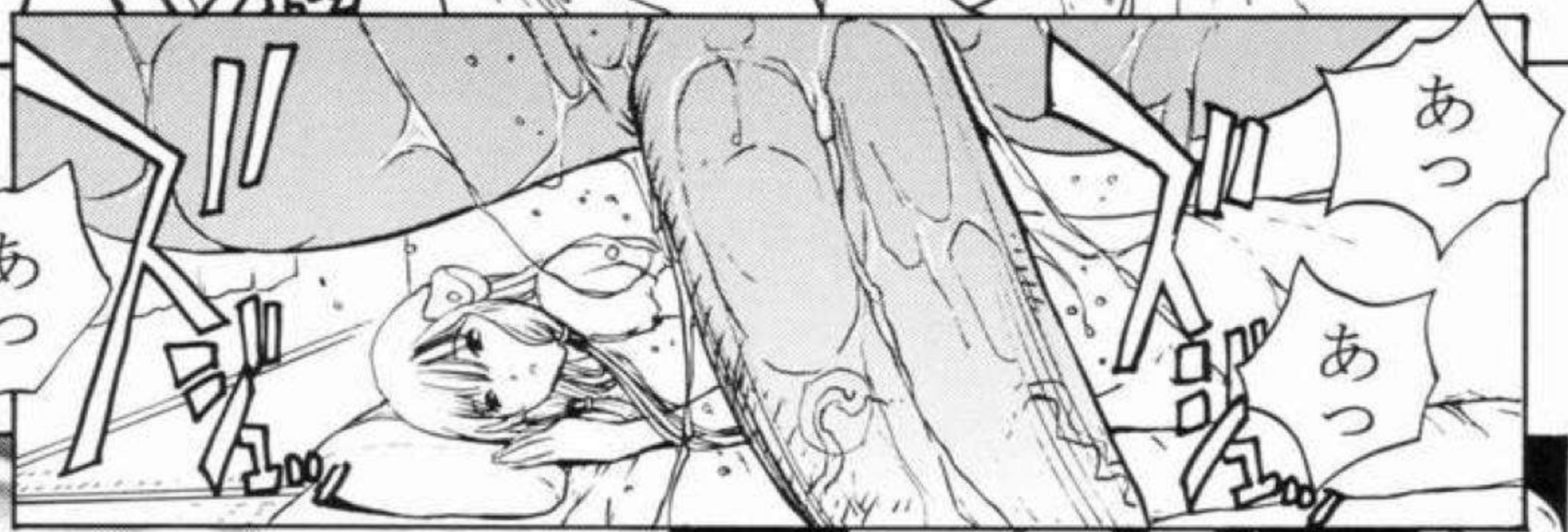
ああっ

ああっ

いっ



センパイ最高です!









秀樹



ありがとう
無理聞いてくれて

ああ…

また来る



ちいもする



同じ事する

秀樹とする

ノノサッ

END

カスタム
4
ちょびっツ SP

CUSTOMER